

健やか運動

協力店だより

練馬区子どもたちを健やかに育てる運動（健やか運動）は、区民の皆様が、青少年の健全育成について認識を深め、地域、学校および行政が一体となり、非行を防止していくことを目的とする運動です。

この運動では、健やか運動協力店の活動・青少年育成地区委員会による協力店加入要請活動や青少年を取り巻く環境実態調査、夕べの音楽の放送のほか、健やかカレンダーを発行しています。

健やか運動協力店の皆様や、青少年育成地区委員を始めとして、区民の皆様が子どもたちを見守り、声をかけ、導いてくださるようご協力をお願い致します。



子どもたちを健やかに育てる運動協力店

練馬区では、青少年育成活動方針に基づいて、地域と一緒に、
青少年の健全な育成に努めています。

「育成活動で大切な4つの目標」

①心のかよう明るい家庭づくりを進めよう 家庭教育は教育の原点です。

家庭でともに過ごす時間や、日々の会話の中で、子どもは人と触れ合う楽しさや正しい規範意識を育んでいきます。家庭で基本的な生活習慣を身につけ、健康で、いきいきとした生活を送ることが大切です。

②青少年の社会参加の機会を増やそう 子どもは体験から多くのことを学び取り

ます。地域での様々な経験を通して、学ぶこと、働くことの意識や楽しさを実感し、社会参加の意識が養われます。

③健全で安全な社会環境づくりを進めよう 子どもの成長にとって、地域の環境はとても大切です。地域の皆さんが声をかけ合い、子どもたちを取り巻く健全で安全な環境を作ることが必要です。

④家庭・学校・地域・関係機関の連携を深めよう 子どもは、学校教育を受けながら、家庭や地域社会の中で成長します。家庭・学校・地域・関係機関が一体となって子どもを見守ることが大切です。お互いの信頼関係のもと、それぞれの役割を自覚し、交流、情報交換を行い、協力し合うことが必要です。

令和6年度版「練馬区青少年育成活動方針」より抜粋



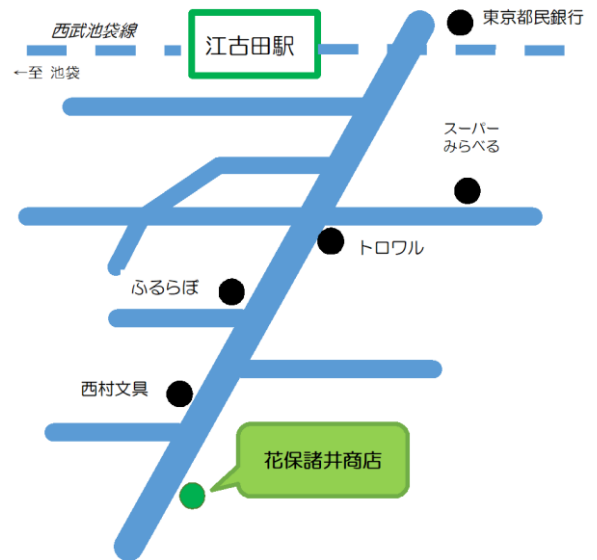
「練馬区青少年育成活動方針」リーフレットについてはこちらからご覧になれます。

アンケートを実施しています。ご協力ください。



協力店にインタビュー

今号は、青少年育成桜台地区委員会のご協力をいただき、栄町25番にある花保諸井商店さんにお話を伺いました。



江古田駅より続く「江古田ゆうゆうロード」の中にあるお花屋さんです。「ビートルのお花屋」と呼ばれています。



健やか運動協力店への加入のきっかけを教えてください。

先代からの継続で、昭和9年から営業しています。地域とのかかわり



この場所で開業した理由は何ですか。

先代が神楽坂で開業し、その後昭和9年に練馬区に移転しました。



地域の子どもたちの見守りをしていて、気づくことはありますか。

3月に入学児童お祝い会を開催してお花を届けたりして、親とも顔合わせしています。商店街を通学路として使う子どもも多く、そこでもまた、顔見知りになっていると思います。そこが子どもたちを見守りやすくなっているのではないかと思います。



この時期のおすすめの花は何ですか。

夏はひまわり、カーネーション、菊です。最近はミニブーケが流行りで、子どもの発表会等に使いやすいようです。花を通して顔見知りになり、商店街の、あのお店の人、という認識をしてもらい、安全安心な地域につながっていると思います。



子どもたちが地域で、安全安心に過ごすためにはどのようなことが大切ですか。

声を掛けやすい雰囲気をつくるように意識しています。通学時の朝や帰りに声かけし、同じベストを着て、同じ場所に立っている、目印となって子どもたちが安心してくれていると思います。





地域での具体的な取り組みを教えてください？

お祭りを9月7日、8日に開催する予定です。8月中に子どもたちを募集して、お囃子の練習をします。栄町のお囃子は簡単な太鼓なので2週間くらいの練習ですぐにできるようになるので、魅力だと思っています。

低学年の子も高学年の子も、全員が主役になれるようになっていところも子どもたち自身が参加しようという気持ちになりやすいと思っています。学校が違って友達づくりに役立っているのではないかと思います。

また、各地域で競いあって行っているような面白味もあるので、参加者が多いと思います。多いときには30人くらい、現在は15~20人くらいが参加してくれています。

他には、ナイトバザールも開催しています。5月に中学生が模擬店、11月に武蔵大学が模擬店を開催しています。7月には武蔵大学、日本大学が「江古田キャンパスプロジェクト」としてリサイクル店を開催しました。



入口に「健やか運動協力店」のシールが貼られています！



地域の子どもたちや保護者の方にメッセージをお願いします。

子どもが成長していく過程で、地域と密接に関わっていくのは中々むずかしいと思います。お祭りやイベントの活動、商店街での買い物に子どもたちを参加させ、地域の人たちと顔見知りになるよう保護者の方にも意識してほしいと思います。

卒業後も疎遠にならないよう、子どもたちを地域の人と関われるようにして頂けたらありがたいと思っています。



写真左から 青少年育成桜台地区委員会
会計 岡田 弘子 様

環境浄化活動実行委員長 小馬 かをる 様

環境浄化活動副実行委員長 田部 紀枝子 様

花保諸井商店 店長 諸井 良治 様

指導員 木下 政子 さん

インタビューにご協力いただいた諸井店長様
青少年育成桜台地区
委員会の皆様、ありが
とうございました。

江古田の街を、いろい
ろな面で、サポートしてい
ます。



■ 編集後記 ■

59号の発行は、青少年育成桜台・第六・第七地区委員会が担当しました。次号（60号）は、第五地区委員会の協力店インタビュー、第四・関地区委員会の環境部委員のメッセージを予定しています。

参加しやすい活動を目指して

第六地区委員会環境部では、参加しやすさをモットーに3つのパトロールを行っています。

①パトロールの時間帯を下校時としていたことを、班ごとの都合の良い時間に変更。②「環境浄化運動」を大規模な年1回の行事から、年に数回の小規模な活動へ。③青色パトロールカーでの巡回。

暑い季節+コロナ禍でのパトロール活動は、マスク着用も加え、熱中症のリスクがさらに高まる懸念がありましたが、パトロールカーにより、熱中症のリスクが軽減し、当初は、夏季のみでしたが現在は年間を通して地域を回っています。巡回の間、育成委員会ボランティア支援部の中学生にアナウンス内容を読んでもらい、録音したものを流しながら走行しています。環境部として、委員とご協力いただく保護者の方々にとって「参加しやすい活動」と感じていただけるよう、柔軟な対応を忘れないように心がけています。

町会の盆踊りで地域の野球クラブの保護者の方々が、テント張りに集まって下さり、子育てを終えた世代が体力的だけでなく精神的にも助けていただいています。

私たちは、「助けてください」ということをもっと声に出してよいのではないのでしょうか。子育て世代と子育てを終えた世代のそれぞれが必要としていることに、お互いの力を借りる事ができたなら、自然と地域の仲間としてつながっていくのではないのでしょうか。パトロールはそんな地域の優しい目として続けていきたい活動です。

最後に、第六地区委員会は商店等が少ないという特長の中で、17か所が「健やか運動協力店」にご加入いただいています。協力店の皆様には子供たちの健やかな成長を見守る場所として、お力添えをいただいていることに、心より感謝申し上げます。

青少年育成第六地区委員会 環境部長 下川 真帆



子供たちの居心地の良い環境

年々、街の様子の変り方が早くなっているように感じられます。

いつの間にか、広い土地には新しい家々が建ち、街の慣れ親しんだ商店は次々と姿を消しています。

季節の作物が育つ広々とした畑は健在で、子供たちは多くを学ばせてもらい、私たちの目を楽しませ、一息つかせてくれています。

そのような、私たち青少年育成第七地区委員会の管内には、北町西小・田柄小・田柄第二小・光が丘秋の陽小・光が丘第八小・田柄中の五つの小学校と一つの中学校があります。

これらの学校の保護者の方々と委員が協力し、健やか運動の活動をしています。

子供たちを取り巻く環境が難しくなっている今、子供たちの健やかな成長を願い、見守り、地域・学校・関係機関が一体となって作っていくこの活動の大切さを改めて強く思います。

毎年、新しくなる顔ぶれで動く活動ですが、また一人また一人、と健やかシールのありがたさを知る人が増えていく嬉しさがあります。協力店を回り、直接話を伺い、感想を伝えます。

私たちのこの地域が、子供たちのみならず、大人の私たちにとっても優しく居心地の良いところであるように、これからも頑張っていきたいと思います。

青少年育成第七地区委員会 健やか環境部長 森田 洋子



令和6年11月1日発行

発行責任者 練馬区教育委員会事務局 こども家庭部 青少年課

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 03-5984-4691(直通)

健やか運動についてもっと知りたい方はココからチェック (区HP)

